



新宿区

『新宿力』で創造する やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成29年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成29年2月14日(火)

事業名	1建築物等耐震化支援事業 2地区計画等のまちづくりルールの策定等 3感震ブレーカーの普及 4擁壁・がけ改修等支援事業等	予算(案)の概要	86.87.88 96.97.105	ページ
予算額	1. 1,108,295千円 2. 151,928千円 3. 3,316千円 4. 7,765千円 (前年度予算額 1. 1,365,513千円 2. 116,535千円 3. 0円 4. 30,222千円)			
取材先	都市計画部防災都市づくり課長 小菅(電話 03-5273-3573) 都市計画部景観・まちづくり課長 中山(03-5273-3549) 都市計画部建築指導課長 野澤(03-5273-3726) 危機管理担当部危機管理課長 鯨井(03-5273-4592)			

高度防災都市化に向け、耐震化・不燃化に取り組めます！

1 耐震化を促進し、安全なまちの実現を目指します！ 【予算額 1,108,295千円】

木造住宅の耐震化啓発を強化します！

- 新たにフォローアップ事業を実施します。

耐震化を検討された方に、個別訪問による耐震化啓発事業を始めます。

- 木造住宅密集地域等の耐震化啓発を拡大します。

個別訪問や地域毎の説明会等を行う対象を拡大します。

耐震モデル地区事業 対象件数約3,000件(H28年度) → 約4,100件(H29年度)

補助制度の利用を促進します！

- 木造住宅密集地域等における木造住宅の耐震化を促進します。

平成29年度に完了するものに限り、耐震改修工事費補助を30万円増額します。

- 非木造建築物の耐震改修工事費補助の所得要件をなくします。

- 耐震シェルター・耐震ベッド設置費補助の所得・高齢者・障害者要件をなくします。

特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を一層推進します！

- 特に倒壊の危険性が高い建築物の耐震化を促進します。

Is値が0.3未満の建築物について、耐震改修工事費補助を上乗せします。

耐震改修工事の上乗せ補助 50,300円/㎡(通常) → 75,450円/㎡(加算)

- 補強設計や耐震改修工事費等への助成期限を延長します。

平成30年度末までに補強設計に着手するものを補助対象とします。



2 木造住宅密集地域の解消を目指します！

【予算額 151,928千円】

地区計画や新たな防火規制を活用します！

予算額 62,087千円

- 道路沿いの建築物を後退することで、避難しやすいまちづくりを進めます。
- 建築物の防火規制を強化することで、まちの不燃化を促進します。

木造住宅の不燃化建替え等に助成します！

予算額 89,841千円

- 地区計画や新たな防火規制を導入した地域及び不燃化特区など、災害に強いまちづくりを推進する地域を対象に助成します。

不燃化建替えへの助成 上限額 100~300万円/件

除却への助成 上限額 50万円/件



3 感震ブレーカーの設置費用を助成します！

【予算額 3,316千円】

大規模地震発生時の出火原因の約6割を占める電気火災の抑制を図るため、災害時活動困難度を考慮した総合危険度5および4の地区で感震ブレーカーの設置費用を助成します。助成額は、器具工事代を含む設置費用の3分の2(上限額5万円)、非課税世帯は6分の5(上限額62,500円)です。

感震ブレーカー設置費用の助成 60件

4 土砂災害警戒区域内の安全化を促進します！

【予算額 7,765千円】

平成29年3月、東京都において新宿区内の土砂災害警戒区域等の指定が行われる予定です。

- 急傾斜地上下の隣接関係者間の、改修に向けた合意形成等の支援等を行います。

土砂災害警戒区域等の専門技術者派遣 3件

- ハザードマップを作成し、区域指定の周知を行います。

地震ハザードマップ作成
土砂災害ハザードマップ作成



土砂災害警戒区域(例) 東京都ホームページより